

令和4（2022）年度

第1回 栃木県立日光明峰高等学校 学校運営協議会

日 時 令和4年6月1日（水）
15:00～16:30

場 所 栃木県立日光明峰高等学校
図書室（南校舎2F）

1 開 会【進行：事務局】

2 校長挨拶

平成30年度より学校運営協議会が発足し、今年度で5年目である。委員の方々及び県教委からご助言と具体的なお支援を賜り、様々な教育活動を展開できている。今年度からスクールカウンセラー配置校として年間31日の教育相談が可能になり、また、常勤のALTが配置されるなど、生徒に対して様々な支援と教育がさらに充実している。

今年度7名の委員が交代になった。今後とも積極的なご意見やご助言を賜りたい。

3 出席者紹介

(1) 規約の確認

事務局説明（資料1）。

(2) 委員の確認

事務局説明（資料2）。

(3) 会長・副会長の承認

事務局案の提示；会長として小野瀬氏、副会長として伊東氏を提示、承認される。

4 連 絡

(1) 令和3年度活動状況報告について

事務局説明（資料3）。

昨年度は特にPTAの活動について、学校運営協議会を通して3つのワーキンググループに分かれて活動していただいた。

(2) 令和4年度の予定について

事務局説明（資料4）。

5 協 議【進行：会長】

(1) 令和4年度学校経営方針の承認について

事務局説明（資料5）。昨年度の第4回学校運営協議会でも承認していただいている内容である。学校教育目標や目指す学校像について、新学習指導要領にも鑑みて更新し、また記載のとおり重点目標を今年度のものとした。その中でも特に教育相談・特別支援体制の充実に注力している。

承認される。

(2) 令和4年度入試結果について

事務局説明（資料6）。昨年度は旧日光地区および旧今市地区の中学生の入学者割合が高かった。入学者数53名は、一昨年度の41名を大幅に上回った。

・ e スポーツ部を希望して入学した生徒は何人いるのか。

→正確な人数は不明だが、1 学年で8 名部員がいる。特色選抜で志望者が4, 5 名いた。宇都宮からの生徒もおり、e スポーツ部が本校を選んだ一つの理由かもしれない。

・ 県外からの入学者3 名はどこに住んでいるのか。

→日光ホッケーハウスという、学校近所の民間の下宿所である。3 学年合わせて15 名入居しており、まだ余裕がある。今後、アイスホッケー以外でも、遠方の生徒の下宿先を確保したい。

・ 日光地区の入学者の割合がなぜこれほど今年度は高いのか。

→はっきりした理由は不明だが、本校の細やかな生徒対応や、地域密着型の校外学習等が地元で評価されたか。5 月末までに上都賀地区すべての中学校およびその他の地区で入学生がいる中学校すべてを訪問した。その際には、本校の合理的配慮やインクルーシブ教育の実績が買われている印象を受けた。

(3) 魅力化推進について

事務局説明(資料7)。本校の魅力を高めることと発信することについて、今年度はこれまでの取組を精査して強化・充実させたい。特に在校生の満足感を向上させることを目指し、生徒主導のPR活動なども考えている。発信については、日光明峰高校だよりと学校案内、また、一日体験学習とオープンスクールで充実させる。

・ 本校の魅力化特色化については、教員も日光市もよく取り組んでいる。県教委としてはどのように考えているのか。

→(県教委回答) 今後とも、在校生の教育活動の充実をお願いしたい。

・ e スポーツ部の創部によって入学者増の一助となったことは発案者として喜ばしい。今後とも充実、発展させて欲しい。また、「魅力の発信」については、日光学を通じて、観光案内やパンフレットに載っていない学校独自の魅力を発信して欲しい。

・ 「魅力の発信」の方法として、先輩生徒や先輩保護者の口コミは大きい。在校生の満足感を高めることで、よい口コミが広まるよう進めていただきたい。

・ 学校のフェイスブックはあるのか。

→同窓会名義のものがあるが、今後学校のものも検討する。すでにYouTube には日光明峰高校チャンネルを作成した。今後インスタグラムやツイッターなどといったSNS も検討している。

・ スケートの人口が減ってきてはいるが、下宿先が整備されていることはよいことである。また、部活動だけでなく、英語教育に力を入れていることもよいことだ。

・ 在校生の満足度を高めることが重要だ。普通科の高校生は目標を持たない生徒が多いという統計もあるが、明峰高校はその課題を先取りして生徒各自の学習を支援している。

6 その他【進行：事務局】

今後の日程の確認

7 閉 会